

問 学校給食費無償化は、少子化対策を本気で進める自治体にとって必須政策ではないか。

答 学習環境の向上を優先的に実施し、国の財源活用が見込まれた段階で再度検討を行う。



災害対応について

問 能登半島地震の災害対応状況を見受

け、多くの不安を感じている。災害時において最大限で最良の対応をするために、現状の計画やルールを大きく見直し準備する必要があるのではないか。

答 能登半島地震での防災対応を教訓とし、大規模地震が発生した場合の被害想定を行った上で、国の防災計画の見直しのほか、県と連携で行う調査事業の検証結果に基づき、今後の地域防災計画の

見直しにつなげていく。

問 出産可能な医療施設が無くなり出生数

が加速的に減少している本市において、これ以上、負の要因を増やさないために、大湯保育園存続に向けた思い切った計画変更が必要と思うが市の考えは。

答 園児数の減少が避けられない状況を踏まえ、質の高いサービス

を維持するため、これまで、保育園の再編や閉園など適正な施設配置を進めてきた。

現状において、他の公立保育施設等での受け入れが可能な状況を踏まえると新たに施設を設置する必要は低いと考えている。

質問した項目

- 災害対応について
- 子育て環境について
- ふるさと納税について



録画配信はこちらから

栗山 尚記 議員（鹿真会・公明）
質問時間 30分

問 省エネ設備更新支援と2030ゼロ・カーボンシティ宣言の関係性は、事業所のエネルギー削減と設備投資を促すことで地域の活性化を図り、かつの電力の切替えも促進させ、目標を達成したい。

答 省エネ設備更新支援と2030ゼロ・カーボンシティ宣言の関係性は、事業所のエネルギー削減と設備投資を促すことで地域の活性化を図り、かつの電力の切替えも促進させ、目標を達成したい。



少人数保育園新設について

問 大湯温泉郷は、インフラ次第では繁

栄しており、保育園は必要と考えるが、少人数保育の導入も含め、存続させる考えはないか。

答 公立保育施設については、これまで

も市全域の児童数の推移を考慮しながら、質の高い保育サービスを提供するための適正な施設配置の観点から、再編や閉園を行ってきた。新たな設置の予定はないが、ぎりぎりまで制度を検討して

いく。

問 市指定天然記念物のトゲウオ生息地

について、外来種などの繁殖が確認されており、本来の生態系が失われるおそれがあるが、市の対応は。

答 これまでも湧水地

周辺での草刈りや排水溝の泥上げなどを行い環境保全に努めてきたが、外来種のラドジョウの増加も確認している。今後は、効果的な環境整備となるよう関係団体や有識者と協議することに加え、外来種の捕獲と駆除についても対策を検討し、天然記念物の維持に取り組んでいく。



録画配信はこちらから

宮野 和秀 議員（誠心会）
質問時間 60分

質問した項目

- 市長の市政運営について
- 地球温暖化対策実行計画について
- 再生可能エネルギーについて
- 省エネ設備更新支援について
- かづのパワーについて
- 森林環境譲与税を活用した森林整備について
- 世紀越えトンネル建設促進について
- ほか